

## 「あなたの罪は赦される」

2014年07月17日

マルコによる福音書2章3節～12節b「四人の男が中風の人を運んで来た。しかし、群衆に阻まれて、イエスのもとに連れて行くことができなかつたので、イエスがおられる辺りの屋根をはがして穴をあけ、病人の寝ている床をつり降ろした。イエスはその人たちの信仰を見て、中風の人に『子よ、あなたの罪は赦される』と言われた。ところが、そこに律法学者が数人座っていて、心の中であれこれと考えた。『この人は、なぜこういうことを口にするのか。神を冒瀆している。神おひとりのほかに、いったいだれが、罪を赦すことができるだろうか。』イエスは、彼らが心の中で考えていることを、御自分の霊の力ですぐに知って言われた。『なぜ、そんな考えを心に抱くのか。中風の人に“あなたの罪は赦される”と言うのと、“起きて、床を担いで歩け”と言うのと、どちらが易しいか。人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。』そして、中風の人に言われた。『わたしはあなたに言う。起き上がり、床を担いで家に帰りなさい。』その人は起き上がり、すぐに床を担いで、皆の見ていた前を出て行った。」

中風で寝たきりになった人を四人の友人たちが床に乗せ、主イエスにいやしてもらおうと運んできた。ところが、主イエスの周りには民衆が群がり、近づくことができなかつた。彼らは屋上に登り、屋根に穴をあけ、主イエスの前につり下ろした。こんなことができるのであろうか。当時の建物ではできる。屋上でテントを張って仮庵の祭りをするため、屋上に登る階段が作られていた。また、外壁は頑丈に作られているが、屋根は比較的粗末であった。可能であるという。しかし、他人の家を壊してまで、こんな行動をするだろうか。ここには、中風の人々の苦しみを自分のこととし、いやしてもらいたいという友人たちの素晴らしい友情がある。力のある人の所には、人は集まる。病になり、厄介をかける人とは疎遠になりがちである。

中風の人を乗せた大きな床が降りてきて、部屋中にごみが舞い散った。いやして下さいと上から覗きこむ友人たち、自分の足で立てない見苦しい姿をさらけ出している中風の人、これほどの友情に結ばれた彼らの信仰を主イエスは見た。そして、中風の人に「子よ、あなたの罪は赦される」と言った。群がる民衆の中には、主イエスの律法違反の言動を掴まえ、訴えようとする律法学者たちがいた。彼らは「罪は赦される」という神にしか言えない言葉を聞き「神への冒瀆」だといぶかる。彼らの心の中を見抜かれた主イエスは、罪は赦されたと言うのと、起きて床を担いで歩けと言うのと、どちらが易しいか、私は罪を赦す権能を持っていることを知らせようと言われた。そして「わたしはあなたに言う。起き上がり、床を担いで家に帰りなさい」と宣言された。彼は宣言通り、起き上がり、床を担いで出て行った。主イエスは罪を赦す権能を持つ方であると明言し、告知している。

罪の赦しとは、神から是認され、神が共にいてくださる（インマヌエル）現実である。神が共にいてくださるから、床に乗せられて人に依存する生き方から、自ら立って歩く自分の人生を見出していく。私は、この奇跡物語を自分の身に起こった出来事であると感謝をもって読み返している。自分を愛せず、生きる意味を見いだせない私を神は愛し、共にいてくださると聞いた時、生きようという喜びと勇気が与えられた。自分の醜態をさらけ出し、いやしを懇願する者に、主イエスは「あなたの罪は赦される」と宣言して下さる。